

暗唱のすすめ へ古文編⑦へ

方丈記 ほうじょうき

鴨長明 かももちょうめい

行く河の流れは絶えずして、しかも、もとの水に
あらず。

よどみに浮ぶうたかたは、かつ消え、かつ結びて、
久しくとどまりたるためしなし。

世の中にある、人と栖と、また、かくのごとし。